

# 香夢楼 緑（かむろ・みどり）

## 1、プロフィール

明治 20 年初め硯友社の同人となり、「我楽多文庫」に「作者身上話」として、英国歴史小説作家サー・ウォルター・スコットやシェークスピアの略伝を連載した。

<生没>

1866(慶応2)年7月1日 ~ 1889(明治 22)年 12 月 26 日

<代表作>

「作者身上話」(「我楽多文庫」)

<青森との関わり>

家は弘前藩士で、本名を松野徳之助といった。東奥義塾に学び、上京して大学予備門に入学した。

## 2、作家解説

外国文学者。家は弘前藩士で父は松野幹といい、弘前に生まれた。本名を松野徳之助といった。東奥義塾に学び、明治 15 年春、18 歳の時上京。大学予備門に入学し、18 年本科に進んだが胸を病み、いったん帰郷。21 年再度上京。東京電報社さらに雑誌「出版月評」に転じた。その間、山田美妙や尾崎紅葉らが組織した文学結社硯友社初期の同人となる。雑誌「我楽多文庫」から「文庫」にかけて「作者身上話」として英国の歴史小説作家サー・ウォルター・スコットの略伝を連載し、また「ウヰリヤム・西エキスピーヤ翁伝」を書き始めたが再び病み、22 年夏帰郷、ついに亡くなった。享年 25 歳。翌年3月、追悼文集『手むけ草』が出された。

悼松野緑

知らぬ間に松は折たり夜の雪 尾崎紅葉  
其夢の涙にさむる霜夜かな 川上眉山

### 3、資料紹介

○「我楽多文庫」

雑誌

1888(明治 21)～1889(明治 22)年

257mm×190mm

我が国最初の文芸同人誌である。硯友社には、これ以前に筆者回覧本があり、のちに「文庫」と改題された。山田美妙や尾崎紅葉らが活躍した。